

授業科目等の概要

令和6年度（服飾専門課程ファッションデザイン科2年）																	
分類	必修	自由選択	種別	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○	-	-	総論	服飾造形論Ⅱ	プロダクト全般に関する仕事を理解し、製造工程、縫製方法に関する知識、縫製機器の取り扱い、服飾付属品関連の知識、素材の種類や生地の特性に対応した裁断・芯貼り、縫製、また補正に関する知識、技術を習得する。	2前後	30	-	△	○	○	○	○	○	○	○	
○	-	-	デザイン	服飾デザインⅡ	ファッションの原点である生地の企画力・デザイン力を身につけるため、グラフィックⅡやソーイングⅡ、パターンメイキングⅡの授業と連動してまとめていく。また、市場調査を元にデザイン展開を行い、ターゲットに向けたデザイン提案力を習得する。さらに、卒業記念展作品の制作に向け、オリジナリティに富むデザイン発想を行い造形的に表現する力を身につける。卒業記念展においてグループでコミュニケーションを図り、自主的に活動できるよう訓練する。	2前後	225	-	△	△	○	○	○	○	○	○	
○	-	-		ドローイングⅡ	イメージしたデザインを視覚的に表現することを目的とし、1年次に学んだ基本的なテクニックを踏まえて様々な画材での着色方法を学ぶ。アパレルデザイナーとして必須になる平面画の習得および学生の感性を磨く為に、各種コンテストへの応募・入選を目標とする。※コンテスト作品への対応を行う為、前後期イレギュラーな回数で行うが、通年で換算することとする。	2前後	60	-	△	△	○	○	○	○	○	○	○
○	-	-	パソコン	グラフィックⅡ	Adobe Photoshop（ラスター）を使い、テーマにあった効果的な画像処理（色調補正・画像切り抜き・フィルタ効果・描画モード等）や自分の思い描くイメージマップ制作などの演習を通じてグラフィックデザインの応用を学ぶ。またAdobe Illustrator（ベクター）を理解し、グラフィックデザインの演習と実技を中心に授業を進める。アイテムの平面画・柄・DM・ポスターを描くための応用力を身につける。	2前後	90	-	○	△	○	○	○	○	○	○	
○	-	-		アパレルCADⅠ	東レクレアコンポのソフトを使用したアパレルCADの基本操作の講義。主に原型操作・スカートのデザイン展開をしながら〈パターンマジックⅡ〉の操作方法を習得する。また、手引きパターンを元に、工場に送り出す前の作業工程を把握する。	2前	15	-	△	○	○	○	○	○	○	○	○
○	-	-	服飾造形	パターンメイキングⅡ	人体の構造、体型を理解して服種別・シルエット各種のパターンメイキングを習得する。また、素材に応じてゆみや厚み分量を考慮したパターン展開法を身に付け、生産に向けた量産パターン（縫い代付、合印、グレーディング）の知識・技術を習得する。	2前後	345	-	○	△	○	○	○	○	○	○	
○	-	-		ドレーピングⅡ	ドレーピングに関する基本的な知識・技術を理解し、体の構造を読み取りながら、数値に捉われることなく感性豊かな服作りが出来る技術を身につける。布目の重要性、ボディとパターンの関係、ドラフティングの仕方など、平面作図と比較しながらドレーピングの理解を深める。	2前	8	-	△	○	○	○	○	○	○	○	○
○	-	-		ソーイングⅡ	デザインをイメージ通りに表現する為に、素材特性に応じた縫製仕様を考え、裁断、縫製、アイロン作業、最終仕上げまでを学ぶ。また、各種部分縫いを交えながらより良い作品としての技術を習得する。	2前後	322	-	△	△	○	○	○	○	○	○	○
○	-	-	流通・販売	市場調査Ⅱ	ファッション産業や小売業などのビジネスの基礎を理解し、直接現場を見て学び、顧客ニーズを的確につかみ製品企画や作品制作に反映させることを目的とする。本や雑誌だけでは得ることができない情報を市場から収集し、まとめる事で時代の空気を読み取る力を伸ばす。常に「まち・みせ・ひと」から情報を得る事の重要性を認識させる。また、プレゼンテーションを行う事で自分の意見を提案する力を身につける。	2前後	30	-	△	○	○	○	○	○	○	○	
合計						9 科目	単位時間：		1,125			時間					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
指定された教室及び実習を通して、知識・技術を習得する。 前期試験（9月）、後期試験（進級試験）及び、各科目の提出物、出席で評価。	1学年の学期区分	前・後期
	1学年の授業期間	全41週
進級クラスは前期4-9月末を19週とし、後期10月-3月までを23週とする。 卒業クラスは前期4-9月末を19週とし、後期10月-3月までを22週とする。		

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。